

在宅看護技術論

単位数（時間数）：1 単位（30 時間） 必修/選択：必修 履修年次：4 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：教授・大沼由香

科目担当者（職位・氏名）：准教授：越納美和、助教：太田ゆきの

対応DP：人間力 ケア・スピリット 人間の実践的理解 専門的知識・技術とその臨床実践
多職種連携・チームワーク アドボカシー

科目記号：86

■ 授業概要

地域に暮らす人々の理解とそこで行われる看護について理解するとともに、療養しながら生活する際の様々な課題を知り、必要な看護活動について教授する。また、在宅ケアシステムについて、多機関・多職種との連携と協働、及び社会資源とその活用方法を教授する。

■ 到達目標

1. 在宅看護過程を通して療養者および家族の理解を深め、その援助について考えることができる。
2. 療養者と家族の特性に応じた社会資源の活用について説明できる。
3. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を考えることができる。
4. ケアマネジメントの意義・目的・方法が理解できる。

■ キーワード

在宅看護過程、ケアマネジメント、事例検討

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	ケアマネジメント 看護過程の展開①	授業オリエンテーション 在宅看護におけるケアマネジメント 対象者理解の視点 講義、個人ワーク	大沼
2	看護過程の展開②	アセスメント（ICF） アセスメント（関連図） 講義、個人ワーク、グループワーク	大沼
3	看護過程の展開③	トータルペイン、マズロー 講義、個人ワーク、グループワーク	大沼
4	看護過程の展開④	看護アセスメント 講義、個人ワーク、グループワーク	大沼
5	看護過程の展開⑤	統合アセスメント 看護計画 評価 講義、個人ワーク、グループワーク	大沼
6	地域包括ケアシステムの実際①	地域包括支援センターにおける看護の 役割と実践 講義	大沼
7	在宅看護ケアの実際 看護コミュニケーション①	事例演習（ロールプレイ）：看護コミュ ニケーションの援助計画立案 家庭訪問のマナー 講義、個人ワーク （講義室3、実習室2）	太田
8	在宅看護ケアの実際 看護コミュニケーション②	事例演習（ロールプレイ）：看護コミュ ニケーションの援助実践計画書の作成 講義、個人ワーク、グループワーク （講義室3、実習室2）	共同

9	地域包括ケアシステムの実際②	介護者家族の支援における看護の役割 と実践 講師 イーハトーブ地域包括支援センター 主任介護支援専門員 松崎清江 氏 講義	越納 ゲストス ピカー
10	地域包括ケアシステムの実際③	看護小規模多機能型居宅介護における 看護の役割と実践 講師 一般社団法人恵幸会 くくる花巻訪問看護ステーション、 花心(はなくくる)看護小規模多機能型 居宅介護 代表理事 平澤利恵子 氏 講義	大沼 ゲストス ピカー
11	在宅看護ケアの実際 看護コミュニケーション③	講義、個人ワーク、グループワーク 事例演習：ロールプレイの練習 (講義室3、実習室2・3)	共同
12	在宅看護ケアの実際 看護コミュニケーション④	講義、個人ワーク、グループワーク 事例演習：ロールプレイの練習 (講義室3、実習室2・3)	共同
13	在宅看護ケアの実際 訪問看護演習	事例演習：ロールプレイの発表会 実施・評価 *2グループ制 (講義室3・実習室2・3)	共同
14	介護予防(1)	介護予防の実際 グループワーク *2グループ制 (講義室3・実習室2・3)	越納 共同
15	介護予防(2) 看護過程の展開⑥ 看護小規模多機能型居宅介護の事例解説	在宅看護のまとめ 講義	大沼

■ 履修条件

在宅看護学概論、在宅看護援助論が履修済みであること。

■ 成績評価方法

授業準備・参加態度 10%、グループワーク 10%・課題（看護過程の展開）40%・
ロールプレイ準備 20%・ロールプレイ発表 20%

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

授業中に解説する。

■ 教科書

- ・『デジタル ナーシング・グラフィカ』メディカ出版
在宅看護論① 地域療養を支えるケア
在宅看護論② 在宅療養を支える技術
- ・尾崎章子編（2021）『地域・在宅看護実習ハンドブック』中央法規出版
- ・配布資料

■ 参考書・参考資料等

- ・日本在宅ケア学会編（2015）『在宅ケア学全6巻』株式会社ワールドプランニング
- ・在宅看護概論、在宅看護援助論配布資料

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

- ・ロールプレイングは、グループごとに話合いや準備、練習を行うこと。
- ・看護過程の展開は毎回課題を出しますので、期日を守って学修すること。
- ・授業1コマにつき、事前・事後学修としてそれぞれ90分程度必要とする。

■ 担当教員からのメッセージ

看護過程の展開は、実習での看護過程実践を想定した内容になりますので、疑問点は質問して確実に理解するようにしてください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

大沼：研究室 15 yu-ohnuma★iwate-uhms.ac.jp

越納：研究室 22 koshinou★iwate-uhms.ac.jp

太田：研究室 24 yoota★iwate-uhms.ac.jp

オフィスアワーは特に定めませんが、事前にメールでご連絡の上、訪問のこと。

(※メールの際は★を@にしてください)

■ 担当教員の実務経験の有無

有

■ 担当教員の実務経験

看護師・助産師・介護支援専門員

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

有

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

看護小規模多機能型居宅介護 管理者（看護師）

地域包括支援センター 管理者（看護師）

■ 実務経験を活かした教育内容

在宅領域（地域包括支援センター、訪問看護ステーション等）における実務経験をもとに専門的で実践的な講義と演習を行います。